

平成29年度 第2回

認知症支援・介護予防・活躍推進に関する会議

2 議事（2）課題と今後の方向性について

資料2

○「認知症の当事者や家族」に関する項目

資料3

○「健康づくり・介護予防」に関する項目

資料4

○「活躍推進」に関する項目

資料5

○ その他

認知症支援・介護予防・活躍推進に関する取り組み状況

資料 2

※数値については H28 年度末現在

	当事者（家族）	活躍推進（担い手）		
		人	地域・福祉団体	企業
認知症支援	<p><b>認知症予防</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○認知症予防教室：参加者数 758 人</li> <li>○出前講演 回数：29 回</li> </ul> <p><b>地域での日常生活・家族支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○当事者・家族への支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェ 箇所数：16 箇所（6 区）                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>※認知症支援・介護予防センターに「カフェ・オレンジ」を常設</li> </ul> </li> <li>・認知症・介護家族コールセンター 相談件数：243 件</li> <li>・高齢者見守りサポーター（ボランティア）による訪問 訪問件数：176 件</li> <li>・認知症介護家族交流会 参加者数：90 人（6 回）</li> <li>・若年性認知症介護家族交流会 参加者数：55 人（6 回）</li> </ul> </li> <li>○認知症高齢者の安全確保                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・徘徊高齢者等位置探索サービス 登録者数：72 人</li> <li>・徘徊高齢者等 SOS ネットワーク 登録者数：1,391 人</li> </ul> </li> </ul> <p><b>地域での生活を支える医療・介護体制</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○認知症疾患医療センター 箇所数：3 箇所</li> <li>○「ものわずれ外来」協力医療機関 箇所数：43 機関</li> <li>○認知症サポート医 人数：52 名</li> <li>○認知症初期集中支援チーム チーム数：1 チーム（モデル実施）</li> </ul>	<p><b>認知症の理解促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○徘徊捜索模擬訓練の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>実施箇所数：21 地区（7 区）</li> </ul> </li> <li>○認知症サポーター 養成数：73,201 人</li> </ul> <p><b>当事者や家族を支える人材</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○カフェマスター（認知症カフェ運営ボランティア）登録数：93 人</li> <li>○高齢者見守りサポーター 登録数：53 人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まちづくり協議会、自治会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・徘徊捜索模擬訓練の実施</li> </ul> </li> <li>○NPO 法人 老いを支える家族の会北九州</li> <li>○認知症・草の根ネットワーク</li> <li>○社会福祉協議会</li> </ul>	<p><b>《認知症の方を支える企業等》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公共交通機関</li> <li>○金融機関</li> <li>○郵便局</li> <li>○生命保険会社</li> <li>○衣料・食料品販売店</li> <li>○宅配サービス提供事業者 等</li> </ul>
	健康づくり・介護予防	<p><b>生涯を通じた自主的な健康づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○健診・検診の受診促進及び保健指導の充実による発症予防・重症化予防の推進（特定健診、がん検診、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症検診）</li> <li>○健康増進事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○受動喫煙防止啓発推進事業</li> </ul> </li> <li>○糖尿病重症化予防連携推進事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○食生活相談</li> </ul> </li> <li>○歯周病（歯周疾患）検診                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○口腔保健支援センター事業</li> </ul> </li> <li>○健康マイレージ事業 参加者数：21,750 人</li> </ul> <p><b>健康づくりや介護予防に関する正しい知識の普及・理解の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各種教室の開催                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・きたきゅう体操、ひまわり太極拳教室 開催数：各 7 教室</li> <li>・高齢者のための筋力向上トレーニング啓発教室 開催数：36 教室</li> <li>・公園で健康づくり教室 開催数：2 教室（新しく健康遊具を設置した地域拠点公園を対象）</li> <li>・尿もれ予防講座・体験会 講座開催数：7 回 体験会開催数：15 回</li> </ul> </li> <li>○ふれあい昼食交流会 会場数：115 箇所 開催回数：1,180 回</li> <li>○食生活改善推進員による訪問 訪問者数：330 人</li> <li>○年長者研修大学校（周望学舎・穴生学舎）による健康づくりコース</li> <li>○穴生ドームによるニュースポーツ出前講演</li> </ul> <p><b>状態像に応じた効果的な介護予防の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域交流支援通所事業（地域交流デイ） 登録者数：703 人</li> <li>○介護予防・生活支援サービス事業（短期集中予防型サービス 昨年度モデル実施）</li> </ul> <p><b>専門職による支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○サロン等の地域活動の場への運動、口腔、栄養の専門職の派遣                             <ul style="list-style-type: none"> <li>派遣回数：運動 181 回 口腔 16 回 栄養 34 回</li> </ul> </li> <li>○専門職による相談会の実施（元気で長生き食卓相談、栄養ラボ等）</li> </ul> <p><b>地域における健康づくり・介護予防活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民センターを拠点とした健康づくり事業（地域で GO!GO!健康づくり）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>実施まち協数：128 団体</li> </ul> </li> <li>○地域認知症・介護予防活動事業</li> <li>○介護支援ボランティア 登録者数：1,769 人</li> </ul>	<p><b>地域社会の担い手となる人材</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○年長者大学校（周望学舎、穴生学舎）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>H28 年度卒業生数：947 人</li> </ul> </li> <li>○ボランティア大学校 受講者数：2,500 人</li> <li>○ボランティアセンター                             <ul style="list-style-type: none"> <li>登録団体：760 団体</li> <li>登録者数：24,556 人</li> </ul> </li> <li>○ふれあいネットワーク活動推進事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉協力員数：6,941 人</li> </ul> </li> <li>○民生委員・児童委員：1,582</li> <li>○生涯現役夢塾 入塾者数：435 人</li> <li>○地区老人クラブ 会員数：38,959 人                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の見守り活動</li> </ul> </li> </ul> <p><b>健康づくり・介護予防活動を実践する人材</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○健康づくり推進員 会員数：692 人</li> <li>○食生活改善推進員 会員数：1,493 人</li> <li>○きたきゅう体操普及員                             <ul style="list-style-type: none"> <li>登録者数：207 人 自主グループ数：90 グループ</li> </ul> </li> <li>○ひまわり太極拳普及員                             <ul style="list-style-type: none"> <li>登録者数：362 人 自主グループ数：120 グループ</li> </ul> </li> <li>○公園で健康づくり普及員                             <ul style="list-style-type: none"> <li>登録者数：142 人 健康遊具設置公園数：306 箇所</li> </ul> </li> <li>○ロコモ予防推進員 登録者数：373 人（福岡県主催）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会福祉協議会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・年長者大学校（周望学舎、穴生学舎）</li> <li>・ボランティア大学校</li> <li>・ボランティアセンター</li> </ul> </li> <li>○生涯現役夢塾</li> <li>○老人クラブ連合会</li> </ul>

【専門職との連携】  
 医師  
 歯科医師  
 薬剤師  
 作業療法士  
 理学療法士  
 言語聴覚士  
 管理栄養士  
 歯科衛生士  
 健康運動指導士  
 など

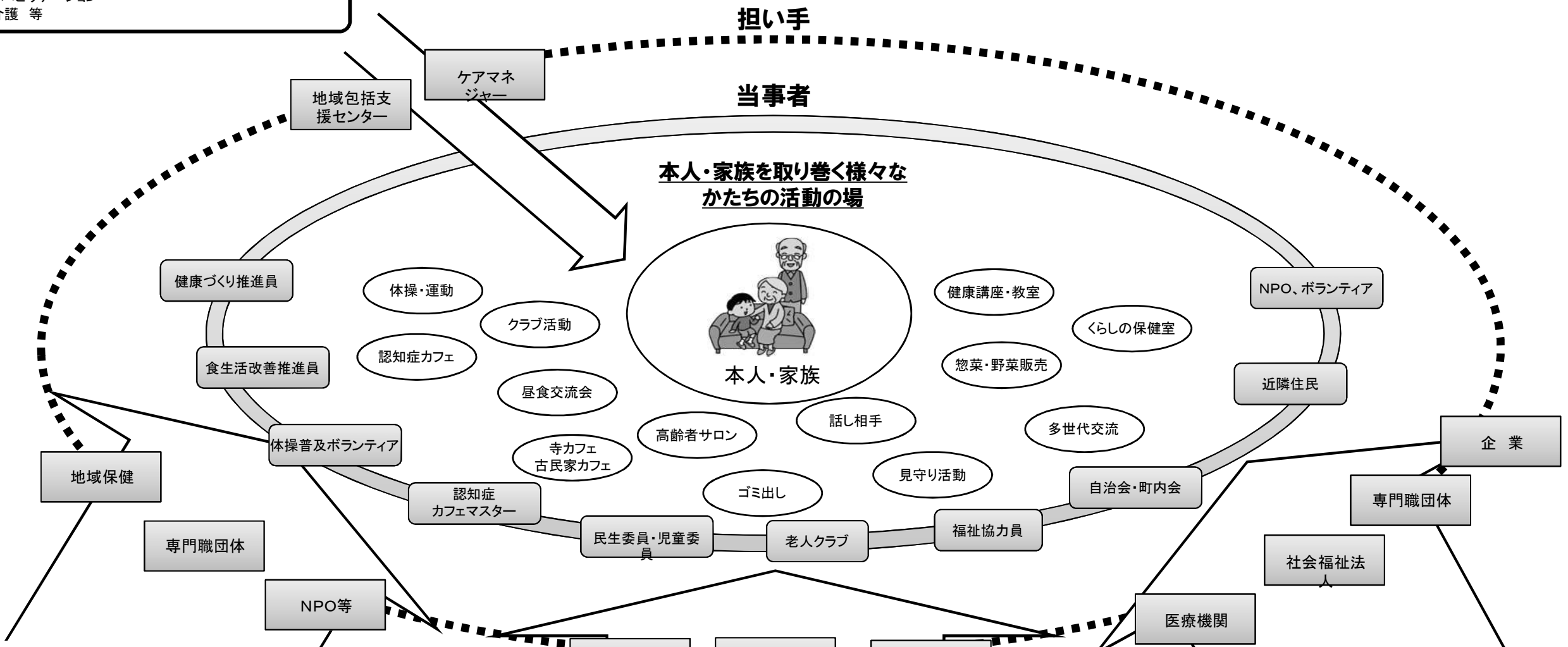
	気づきの場面（きっかけ）	できる支援	本人・家族の関わり	本人・家族の思い・希望
<b>地域関係団体 地域関係者</b> （まちづくり協議会、自治会、民生委員・児童委員、社会福祉協議会（福祉協力員）、老人クラブ等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家族が認知症になった。</li> <li>○ 友人、近隣の人が認知症になった。</li> <li>○ 地域で行方不明者が出た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 認知症の本人や家族を見守る、声かけ（民生委員・児童委員による訪問、福祉協力員による訪問、老人クラブの友愛活動 など）</li> <li>○ 地域の問題として捉え、認知症の本人も住みやすいまちづくりに取り組む（例：認知症サポーター養成講座開催、検索模擬訓練の実施）</li> <li>○ 認知症の本人や家族も一緒に参加できる「サロン」や「認知症カフェ」の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 検索模擬訓練への参加</li> <li>○ 認知症サポーター養成講座・市民センター人権講座の講師（介護家族の経験を伝える）</li> <li>○ 地域の「サロン」や「認知症カフェ」への参加</li> </ul>	<b>（本人）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 認知症のことを多くの人に知って欲しい。</li> <li>・ 重度の認知症の症状を認知症全体の症状のように多くの人が思っている。（いきなり重度の症状になるわけではない。）</li> <li>・ 認知症でもできることは多くある。</li> </ul>
<b>NPO・ボランティア</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 認知症の本人や家族と出会った。</li> <li>○ ボランティア活動を通じて、関わることの必要性を感じた。 （例：人の役に立つことがしたい 認知症を理解する活動を広めたい）</li> <li>○ 自分自身が介護を体験し、その体験を活かしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 認知症の本人や家族を支援するための活動（例：見守り、話し相手、送迎等）</li> <li>○ 介護家族による相談対応、交流会の開催（例：NPO 法人老いを支える北九州家族の会）</li> <li>○ 認知症に関するネットワークづくり、勉強会の開催（例：認知症・草の根ネットワーク）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 介護家族交流会に参加</li> <li>○ 若年性認知症交流会に参加</li> <li>○ ネットワークや勉強会に参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ できることまで奪わないでほしい。</li> <li>・ 生活の中で「サポート」は必要だが、どういサポートが必要かは一人ひとり違う。</li> <li>・ 「本人の声」と「家族の声」はイコールではない。</li> </ul>
<b>企業</b> （サービス業、金融・保険業、運輸・通信業、飲食業等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 金融機関の窓口で何度も通帳を失くし、困っているお客様に出会った。</li> <li>○ スーパーのレジで、同じものを毎日買いに来るお客様、お金の計算ができず、困っているお客様に出会った。</li> <li>○ 従業員の家族が認知症となり、介護の問題のため仕事を続けるのが難しくなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社員が認知症について正しく理解するため、会社で認知症サポーター養成講座を開催</li> <li>○ 会社の介護休暇等の制度を整える（雇用主）。</li> <li>○ 店内で困っている様子の高齢者を見かけたら、店員が買物に付き添ったり、見やすい表示や陳列に変えるなどの工夫を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 認知症サポーター養成講座の講師（介護家族の経験を伝える）</li> <li>○ お店に対し、認知症の本人目線での改善や工夫をアドバイス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 買い物での困りごと</li> <li>・ すぐお札を出してしまい小銭だらけになる。</li> <li>・ どこに何があるか分かりにくい。</li> </ul>
<b>大学・教育機関</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家族が認知症になった。</li> <li>○ 友人の家族が介護で大変な状態になった。</li> <li>○ 将来の自分の仕事に必要性を感じた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校で、認知症について正しく理解するための認知症サポーター養成講座を開催</li> <li>○ 高齢者宅や施設等の訪問、交流会の開催を通じた触れ合いによる社会的意識の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 認知症サポーター養成講座の講師（介護家族の経験を伝える）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域に自分たちの居場所が欲しい。</li> <li>・ 単に「いる場所」ではなく、自分が必要とされる場所、役割のある場所</li> </ul>
<b>保健・医療・介護</b> （医療機関、介護保険事業所、職能団体等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者が急に暴力的になり、対応に困った。</li> <li>○ 利用者が、物がなくなったことを自分のせいにするようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ かかりつけ医・歯科医・薬剤師・看護職員等、専門職向けの認知症対応力向上研修を受講</li> <li>○ 各職能団体で、認知症の各段階症状や対応を学ぶ研修を実施</li> <li>○ 地域貢献活動（健康講座・教室の開催、サロンの開催、認知症カフェ等の開催）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医療機関や介護事業所等の開催する「サロン」や「認知症カフェ」へ参加</li> </ul>	<b>（家族）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 認知症のことを気軽に相談できるところがほしい。</li> <li>○ 本人を目の前にして言えないこと、介護家族だから話せる場が欲しい。</li> <li>○ 地域全体が認知症にやさしいまちになるともっと住みやすい。</li> <li>・ 子どもの時から高齢者のこと、認知症のことを知ってもらえる環境</li> </ul>
<b>行政</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 認知症の本人や家族の視点を重視した計画策定、事業実施（認知症本人や家族の意見を聞く場の設定等）</li> <li>○ 定期的に計画や事業を振り返り、評価</li> <li>○ 課題に対し、必要な対策等を検討</li> <li>○ 認知症に関して相談に対応する窓口の整備（例：地域包括支援センターの機能強化 若年性認知症の相談窓口の設置）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計画策定や事業計画の際、本人や家族の意見を述べる。</li> </ul>	

# 介護予防・活躍推進における地域活動等の取り組みイメージ

## 状態像に応じた介護予防サービスの提供

- 介護予防・生活支援サービス事業
  - 短期集中予防型サービス(サービスC)
  - 生活支援型サービス(サービスA)
  - 予防給付型サービス
- 介護給付
  - 訪問・通所リハビリテーション
  - 訪問・通所介護 等

- 【活動における様々な課題】
  - 人手が足りない(運営スタッフの確保)
  - 活動がマンネリ化している(プログラムの工夫)
  - 活動したいが場所がない(場所の確保)
  - 活動を継続するための運営補助がほしい(財政的な支援)
- 【課題への対応の方向性】
  - 活動に参加したい人と活動場所とのマッチング支援
  - 新たに活動を行いたい人への活動立ち上げ支援
  - 活動の継続に向けた支援



## 健康づくり・介護予防活動の支援

- 各種教室等の開催(きっかけづくり)
  - きたきゅう体操、ひまわり太極拳
  - 公園で健康づくり ○尿失禁予防 ○筋力向上トレーニング
  - お口の元気度アップ ○シニア料理教室 等
- 地域での健康づくり・介護予防実践者の養成
  - 健康づくり推進員 … 地域でGO! GO!
  - 食生活改善推進員 … ふれあい昼食会、訪問等
  - きたきゅう体操・ひまわり太極拳普及員 … 自主グループ活動
  - 公園で健康づくり推進員 … 健康遊具等の活用
  - 認知症カフェマスター … 認知症カフェ等の運営
- 専門職による地域活動への支援
  - サロン等の地域活動の場への運動、口腔、栄養の専門職の派遣

## 見守り・支え合い活動の支援

- ふれあいネットワーク
  - 高齢者サロン活動 ⇒ 115箇所
  - ニーズ対応チーム(福祉協力員) ⇒ 155校(地区)
- 多世代交流
  - 学生等による地域活動への関わり

## 社福・医療機関・企業等による地域貢献

- 地域貢献活動
  - 健康講座・教室の開催
  - 交流会、サロンの開催
  - 高齢者の食生活支援(食の場の提供)
- 専門性を活かしたボランティア活動
  - 専門職による地域へのボランティア活動(プロボノ活動)
  - 暮らしの保健室等の運営
  - 高齢者の食生活支援(食の場の提供)

## 生きがい・社会参加等の支援

- 生涯スポーツ活動(機会提供)
  - 穴生ドーム
  - シルバースポーツ大会
- 教育・文化活動(機会提供)
  - 年長者研修大学校
- 地域社会の担い手づくり
  - 生涯現役夢追塾 ⇒ 435人
  - ボランティア大学校
- 介護ボランティアポイント
  - 介護支援ボランティア(介護施設等でのボランティア)
- 働くこと(社会参加)
  - シルバー人材センター
  - シニアハローワーク

## 今後の検討内容

できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、地域住民である高齢者自身が生きがいや居場所づくり、地域活動を通して、自ら行動を起こし健康づくりや介護予防、認知症支援に継続して取り組んでいくための仕組みづくりの検討を行うもの。

### 1 総合的な認知症対策の推進

(これまで実施してきた)認知症への理解を深めるための普及・啓発の更なる展開や、地域の見守り活動の充実、適時・適切な医療介護の体制構築、若年性認知症対策など具体的な取り組みを検討。

<具体的例>

- ・学生や企業など、対象者拡大による10万人を目指した認知症サポーター養成や活動の場づくり
- ・様々な地域での搜索模擬訓練の実施
- ・認知症疾患医療センターや初期集中支援チームの機能を活かした医療介護の連携
- ・オレンジ・カフェで養成したカフェマスター等が活躍する認知症カフェの展開
- ・若年性認知症の方の気持ちを理解し、仕事や生活を支える仕組み など

### 2 健康づくり・介護予防・生活支援の充実へ向けた検討

状態像に応じた連続性のある適切なサービス提供体制の構築や、市民がより身近な場所で主体的・継続的に健康づくり・介護予防に取り組むことができるための体制づくり等を検討。

<具体的例>

- ・健康づくり推進員、食生活改善推進員、介護予防普及員（ひまわり太極拳、きたきゅう体操）など、介護予防のけん引役となる方の活動がより地域にきめ細かく根付くための方策
- ・地域のサロン等において介護予防の取組みが拡大するための専門職による運動・栄養・口腔の一体的な提供
- ・状態像に応じた効果的な介護予防の実施体制 など

### 3 高齢者の生きがい・社会参加など活躍の推進

高齢者自身が持つ豊かな知識や経験をボランティアや就労をはじめとする様々な地域活動の担い手につなげていく仕組みづくりを検討。

<具体的例>

- ・地域ニーズに応じたボランティア人材の育成と地域活動とのマッチング
- ・自己の能力や経験に応じたボランティア活動や就労へ参加を促すための仕組みづくり
- ・現役時代から専門性を活かしたボランティア活動（プロボノ活動）へ参加する仕組みづくり など

## 高齢者のいきがい・社会参加などの活躍の推進

### 1 年長者大学校（周望学舎、穴生学舎）

高齢者の教養、健康、趣味、レクリエーション等の生きがいづくりや健康づくりを促進し、地域活動を担う高齢者の人材育成を図る。

#### (1) 学んだことを活かしたボランティア活動内容

・庭木の剪定 ・体操教室 ・昔遊び(竹馬、皿回し) ・清掃 ・読み聞かせ・写真展 等

#### (2) 活動への繋げ方

・職員が地域に出向き各種活動を掘り起こし、可能なコースとのマッチング  
・受講生が地域に出向き各種活動を掘り起こし活動を実施

### 2 夢 追 塾

今まで培ってきた能力を眠らせることなく、退職後もその技術や経験、能力や人脈などを活かし、地域活動や社会貢献活動などの担い手として活躍していく人材の発掘と育成を図る。

#### (1) 卒塾後の活動例

・空き家対策 ・北九州市のPR活動 ・コンサルタントとして独立 ・NPO の設立  
・大学等講師 ・NPO 活動に参加 ・再就職・再雇用 等

#### (2) 活動への繋げ方

入塾中に、プロジェクトチームを立ち上げ、地域課題・解決方法等の事業計画書を作成。  
卒塾後に、解決に向けた活動を開始。

### 3 いきがい活動ステーション

高齢者の社会参加やいきがいづくりを促進するため、高齢者の参加しやすいボランティア活動、生涯学習、仲間づくりなどの情報収集や情報提供、活動のマッチングを行う。

<実際の活動に繋がった事例>

・英語サロン

72 歳男性。「アメリカ在住の経験を活かした活動をしたい」という相談があり、英語サロンの立ち上げを援助。(現在は市民センターで活動中)

・グリーンバード(清掃活動)

45 歳女性。「イベントの開催や学生との交流などの活動をしたい」という相談があり、市内の大学生が中心となって活動しているグリーンバード(街中でのごみ拾いボランティア)の活動を紹介。

・その他、「なめらかストレッチ講座」、「インターネット安全教室」、「年賀状の書き方」、「各種健康講座」などを開催

### 4 プランに掲げた関係指標の状況

事業名	当初(H25)	目標(H29)	現状(H28)
年長者大学校 延利用者数(年間)	74,568人	75,000人	65,238人
生涯現役夢追塾 入塾者数(累計)	347人	468人	435人
いきがい活動ステーション 閲覧件数(年間)	20,816件	24,200件	36,391件

### 5 今後の取組み

高齢者が、年長者大学校や夢追塾などで学んだ後、実際のボランティア活動や地域活動に、より繋がりがやすくなるように、カリキュラムの内容や情報提供方法などについて検討していく必要がある。



## 福祉ボランティアの人材育成に関する主な取り組み

### 1 北九州市の取り組み

#### 1 地域ニーズに応じたボランティア人材の育成と地域活動とのマッチング

▼北九州市社会福祉ボランティア大学校における講座・研修の開催

##### (1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

###### ① 地域単位での生活支援力の向上を目指した「ふくしのまちづくり講座」

- ・校(地)区単位ごとに、多様化する地域の課題解決を図るとともに、新たな人材の獲得を目指すことを目的に実施。

対象：市民（校区住民）

延開催日数：21日 延参加人数：747名

###### まちづくりセミナー

- ・様々な地域の福祉課題を取り上げ、ボランティア・市民活動の参加の契機とすることを目的に実施。

対象：市民

延開催日数：5日 延参加人数：139名

##### (2) 地縁型ボランティアの育成

###### ① 自身が住む地域で活動を始めたい方を対象とした「新任福祉協力員等研修」

- ・新たに委嘱された福祉協力員等が社協活動や小地域福祉活動の基本の習得を図ることを目的に実施。

対象：新任福祉協力員等

延開催日数：8日 延参加人数：362名

###### ② 現在活動中でスキルアップしたい方を対象とした「現任福祉協力員研修」、「地域福祉活動専門研修」

###### ア) 現任福祉協力員研修

- ・福祉協力員としての資質向上と活動継続のための士気向上を目的に実施。

対象：現任福祉協力員等

延開催日数：7日 延参加人数：374名

###### イ) 地域福祉活動専門研修

- ・ふれあいネットワーク活動メニュー事業等の企画・運営手法の習得を図る。

対象：校(地)区社協活動者

延開催日数：1日 延参加人数：135名

###### ③ 地域でリーダーとして活躍する方を対象とした「地域福祉活動指導者研修トップセミナー」、「校(地)区社協新任役員研修」、「まちづくりゼミナール」

###### ア) 地域福祉活動指導者研修トップセミナー

- ・社協の使命・ビジョンの共有化を図ることを目的に実施。

対象：校(地)区社協役員

延開催日数：1日 延参加人数：188名

###### イ) 校(地)区社協新任役員研修



- ・社協活動の基本を確認し、役員としての役割を理解した上で、指導者としてのマネジメント能力の開発・向上を目指すことを目的に実施。

対象：校(地)区社協新任役員

延開催日数：1日 延参加人数：95名

#### ウ) まちづくりゼミナール

- ・ゼミナール形式でより良い地域づくりのための情報交換・討論を行い、地域コミュニティの再生に取り組むことを目的に実施。

対象：校(地)区社協・まちづくり協議会役員、市民センター館長等

延開催日数：5日 延参加人数：63名

## 2 自己の能力や経験に応じたボランティア活動や就労へ参加を促すための仕組みづくり

### (1) 培った技術を活かした生活支援「腕自慢おまかせサービスボランティア」

概要：企業のグループや市民の皆さんがボランティアとして趣味・特技を生かし、簡単な大工仕事などをお手伝いする。

#### 【サービスの内容】

高齢者や障害者のある人が自力で対応できない、家具の移動や段差の解消といった簡単な大工仕事などをボランティアがお手伝いする。

(例) 簡単な大工仕事、窓や戸の修理、家具の移動(屋内のみ)、包丁とき

電化製品の修理、水道の修理(パッキンの取替え)など

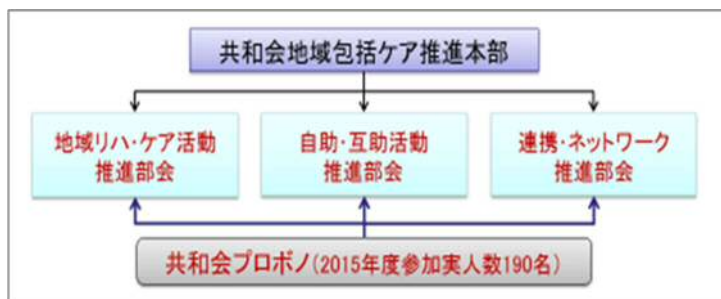
ボランティア登録人数：317名 実施件数：48件

## 2 民間法人の取り組み事例

### ◆プロボノ活動の推進

小倉リハビリテーション病院や介護老人保健施設を運営する共和会は、障害のある人や高齢者とその家族が、住み慣れた地域で安全に暮らすことができるように、在宅生活の支援として介護教室などリハビリを通じて様々な地域活動に取り組んできた。

2014(平成26)年に、これまで培ってきた職員のスキルを活用した地域貢献活動を組織的に行うため、法人内に地域包括ケア推進本部を設置するとともに、休日のうち半日/月を高齢者サロンや認知症カフェ、小学生を対象にした車いす・高齢者疑似体験学習支援などの地域活動に継続的に関わる組織「共和会プロボノ」を立ち上げ、地域包括ケアシステムの構築に向け、プロボノ活動の推進に取り組んでいる。



※プロボノとは  
各分野の専門家が、職業上持っている知識・スキルや経験を活かして社会貢献するボランティア活動全般のこと。

## 3 今後の取り組み

社会福祉ボランティア大学校の研修を、地域レベルでは地域の特性に応じた人材育成、市・区レベルにおいては、課題の共有や課題解決方法の普及等を目的にした研修を企画実施する等、研修受講者を地域福祉活動につなげていくような取り組みを検討する必要がある。

# お役にたちます!!

シルバー人材センターは、豊富な知識、経験を活かして

**親切 丁寧 安心 確実** をモットーに、

ご家庭や企業、地域の様々なニーズに  
お応えします。



屋内外の  
一般作業  
草刈り・除草  
清掃

農業手伝い  
野菜の種まき・収穫  
畑の草取り

事務分野  
毛筆筆耕  
宛名書き  
パソコン入力等

サービスの仕事  
家事支援  
育児支援  
福祉援助

技術や  
道具を使う仕事  
剪定、大工仕事  
塗装

**親切 丁寧 安心 確実**

## お仕事募集中!!

お問い合わせは



公益社団法人 北九州市シルバー人材センター  
〒802-0062 北九州市小倉北区片野新町一丁目1-6  
TEL 093-922-4801 (受付時間(祝日除く)  
月~金曜日 8:30~17:15)

# あなたの経験を 活かしてみませんか!!

シルバー人材センターは  
高齢者（対象 60 歳以上）が  
働くことを通じて、健康を保持し、  
生きがいを得るとともに、  
地域社会に貢献するという  
「自主・自立、共働・共助」の理念を  
基本としています。

## 主なお仕事

- 剪定
- 除草・清掃
- 筆耕（宛名書き・賞状書き）
- 家庭内のお手伝い（簡単な大工仕事等）
- 育児支援
- 家事援助（掃除・洗濯・炊事）
- 農業支援（野菜の収穫等）
- 福祉援助（見守り・通院同行・話し相手等）



## 会員 募集

### 入会説明会開催

◆ 高齢者就業支援センター（ウェルとばた 8 階）

月～金曜日（祝日は除きます）／ 9:00～16:00（12:00～13:00 は休憩）

◆ 本部：月～金曜日（祝日は除きます）／ 10:00～16:00

◆ シルバー人材センター本部及び門司・若松・八幡西区役所

毎月第 1 火曜日／ 10:00 からと 13:30 からの 2 回（約 2 時間）

※ いずれも官製はがき 1 枚を持参してください。

お問い合わせは



公益社団法人 北九州市シルバー人材センター

〒802-0062 北九州市小倉北区片野新町一丁目 1-6

TEL 093-922-4801（受付時間（祝日除く）  
月～金曜日 8:30～17:15）

# 全国初、シニア世代のためのハローワーク 「シニア・ハローワーク戸畑」開設！

「福岡市・北九州市の国家戦略特別区域計画」が内閣総理大臣の認定を受け、全国で初めてのシニア・ハローワークが、北九州市戸畑区に設置されました。「シニア・ハローワーク戸畑」の主な特長は、以下の3つです。

## 特長 1

**50歳以上の方の採用に意欲的な企業の求人情報を提供します。**

経験豊富なシニア世代と即戦力人材を必要としている地元企業との、適切なマッチングを行います。

## 特長 2

**多様な就業ニーズなどに応じた情報を提供します。**

ご本人の就業ニーズなどに応じて、シルバー人材センターをはじめ、北九州市の関係機関の相談窓口に関する情報を提供します。

## 特長 3

**50歳以上の方に適した、各種ガイダンスを実施します。**

履歴書、職務経歴書の書き方や面接の受け方、求職活動の方法などに関して、50歳以上の方に適したガイダンスを実施します。

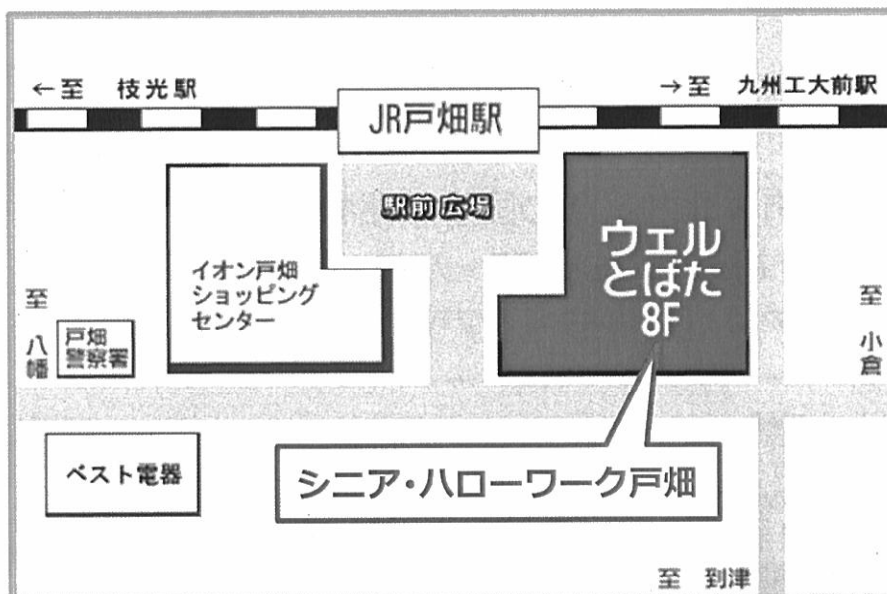
- ◆ ガイダンスなどは、事前の予約が必要な場合があります。
- ◆ 「シニア・ハローワーク戸畑」の所在地やご利用時間は、裏面を参照してください。



## 「シニア・ハローワーク戸畑」のご案内

### 交通案内

- ・ JR「戸畑駅」南口から徒歩1分
- ・ 市営バス「戸畑駅」行き「戸畑駅」バス停で下車徒歩1分
- ・ 西鉄バス「戸畑渡場」または「戸畑駅」行き「戸畑駅」バス停で下車徒歩1分



### 所在地・電話番号

〒804-0067  
 北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた8階  
 ハローワーク八幡 戸畑分庁舎内  
 電話 093-871-1338

### ご利用時間

平日 8:30~17:15

## 関係機関の相談窓口

名称	所在地	電話番号
北九州市シルバー人材センター	北九州市小倉北区片野新町1-1-6	093-922-4801
北九州高齢者能力活用センター	北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた8階	093-881-6699
北九州市U・Iターン応援オフィス	北九州市小倉北区浅野3-8-1 AIMビル2階	0120-0823-46
ボランティア・市民活動センター (北九州市社会福祉協議会)	北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた3階	093-881-0110
北九州市高齢者就業支援センター	北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた8階	093-882-5400

※利用時間は、関係機関へお問い合わせください。